

施策No.	政策名	生きがいを育む学びのまちづくり	主管課	生涯学習課	主管課長名	
2-3	施策名	青少年の健全育成	関係課	生活環境課、社会福祉課、児童福祉課、健康推進課、学校教育課、教育指導課		

1. 施策の目的と成果把握

目的	施策の対象	対象指標名	単位	区分	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
	市民(青少年とその保護者、地域住民)	①桜川市人口		人	見込値	37,653	37,269	36,885	36,500	35,897
実績値					37,653	36,794	36,120			
②青少年人口				人	見込値	4,884	4,845	4,795	4,745	4,667
					実績値	4,884	4,642	4,234		
心豊かにたくましく育っている。		成果指標名	①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合	%	目標値	54.0	55.0	57.0	58.0	60.0
					実績値	51.1	52.5	49.5		
			②各種体験学習活動への参加者数(R4から新規)	人	目標値	468.0	470.0	480.0	490.0	500.0
					実績値	468.0	904.0	987.0		
	③こども見守りボランティア登録者数(R4から新規)		人	目標値	180.0	200.0	200.0	200.0	200.0	
				実績値	187.0	199.0	196.0			
	④「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数		店舗	目標値	110	112	115	117	120	
				実績値	110	93	94			
成果指標設定の考え方	心豊かにたくましく育っている成果指標については、①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合をアンケートにて調査。また、②各種体験活動への参加人数として、青少年対策事業等の体験活動の参加者人数を把握。③こども見守りボランティア登録者名簿で把握。④「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数の把握。									
成果指標の把握方法と算定式等	○対象の①桜川市人口は、毎年10月1日の常住人口。②青少年人口は、毎年4月1日の住民基本台帳による18歳未満の市民より求める。○①心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は、市民アンケートより求める。②各種体験活動への参加人数は、市子ども会連合会における体験教室、わくわくチャレンジ、青少年育成桜川市民会議における各地区体験活動の実績より求める。③こども見守りボランティア登録者名簿の登録者数。④「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数は、「青少年の健全育成に協力する店」登録店舗数実績報告より求める。									

2. 施策の成果水準とその背景・要因

1) 現状の成果水準と時系列比較(現状の水準は以前からみて成果は向上したのか、低下したのか、その要因は?)

実績比較	<input type="checkbox"/> 成果がかなり向上した	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば向上した	<input checked="" type="checkbox"/> 成果がほとんど変わらない(横ばい状態)
	<input type="checkbox"/> 成果がどちらかといえば低下した	<input type="checkbox"/> 成果がかなり低下した	
背景要因	心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は、令和5年度は52.5%だったが、令和6年度は49.5%と3ポイントの減少となった。令和4年度から指標とした各種体験学習活動の参加者数は987人の参加となり、前年度より83名の増加となった。同じく新規に指標とした、こども見守りボランティアの登録者数については、196名と前年度より3名の減少となった。青少年の健全育成に協力する店の登録店舗数は、前年度93店に対し94店舗で昨年度から1店舗増加となった。実績値としては低下しているが、現状の成果としてはほとんど変わっていないと考えられる。		

2) 成果目標の達成状況

実績比較	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを上回った	<input type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を上回った	<input type="checkbox"/> 目標値どおりの成果であった
	<input checked="" type="checkbox"/> 一部の成果指標で目標値を下回った	<input type="checkbox"/> 目標値の全てを下回った	
背景要因	心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は目標値を7.5ポイント下回った。各種体験学習活動の参加者数は、987人の参加となり、目標値を大きく上回った。こども見守りボランティアの登録者数については、目標200名に対し196名となり目標値より下回る結果となった。青少年の健全育成に協力する店登録店舗数については、廃業等により当初目標よりは減少している。心豊かにたくましく育っていると思う市民の割合は目標値をかなり下回っているが、体験学習活動への参加者は年々増加しており、引き続き事業を展開していく。		

3. 施策の成果実績に対するの総括と今後の課題・方針

施策の成果実績に対するの総括	今後の課題・方針
<p>青少年の健全育成において、貢献度の高かった事業は下記のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわくチャレンジ推進事業・・・近年地域の人材を活用したわくわくチャレンジ事業で実施する体験型教室の参加者が非常に伸びている。地域が関わって子どもたちの成長を促す取り組みが継続的に行われ、学校外学習の場を提供できた。 ・地域学校協働活動事業・・・学校を核とした地域づくりを目指し、地域と学校がパートナーとして、連携・協働し行う活動のことで、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えることを目的としている。地域の住民が参画し、様々な活動を実施できるよう、スクールパートナー(ボランティアの人材バンク)の登録を行った。協力内容としては、登下校の見守り、環境整備、学習支援等、多岐にわたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生会については、市内の高校と連携し新規会員の募集を行い、生涯学習課の事業に協力し積極性やコミュニケーション能力向上につながった。今後も社会貢献の場や、魅力ある市づくり、郷土愛を育む活動などへの支援を図る。 ・子ども会事業やわくわくチャレンジ、青少年育成桜川市民会議などによる各種体験活動への参加者が増加しているが、積極的に参加する児童がいる反面、参加者が固定化しているため、より多くの児童に参加してもらえるような、新たな教室の企画や人気の教室は複数回の開催等の検討を行う。